

市民生活と観光の調和・両立の推進 ～令和8年春・GWの取組結果～

- ・ 取組結果概要 (1～ 4ページ)
- ・ 分野別の取組内容 (5～15ページ)

観光課題対策

〔 分散化・周遊観光の推進、道路の混雑対策、市バスの混雑対策、
手ぶら観光の推進、京都駅一極集中の緩和、観光マナー啓発・散乱ごみ対策 〕

観光に対する共感の輪の拡大

各取組は、**宿泊税を活用**して実施します（4ページ参照）。

令和8年9月17日
市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム
（京都市産業観光局観光MICE推進室）

【令和8年春の取組方針・総括】

- 春の観光シーズンは、秋と同様に多くの観光客の来訪が見込まれることから、市民生活と観光の調和・両立を目指し、昨年秋の取組に準じる形で実施
- 令和8年春の観光客について、地域・関係事業者からは、渡航自粛の影響もあり、中国人観光客は減ったもののその他のインバウンドの増加により、**外国人観光客全体の数は変わっていない印象との声が多数**あった。
- 関係各局の連携の下、引き続き、市民生活と観光の調和・両立を目指し、総力を挙げて対策を講じたことにより、**市民生活への影響の抑制・未然防止に一定寄与したもの**と認識

<観光客等の動向>

- 春の観光シーズン（3/28～4/5の土日4日間）の市バス・地下鉄の乗降客数は、市バス：345,568人/日（R7比+3.3%）、地下鉄：668,589人/日（R7比+1.7%）、GW期間（5/2～6の5日間）の市バス・地下鉄の乗降客数は、市バス：316,043人/日（R7比+3.2%）、地下鉄：598,704人/日（R7比+5.9%）と増加
- 京都市の桜については、3/23に二条城の標本木で開花（昨年より4日早く、平年より3日早い）が発表され、3/30に満開を迎え、各所において昨年度よりも開花が早まった。

【主な実績】

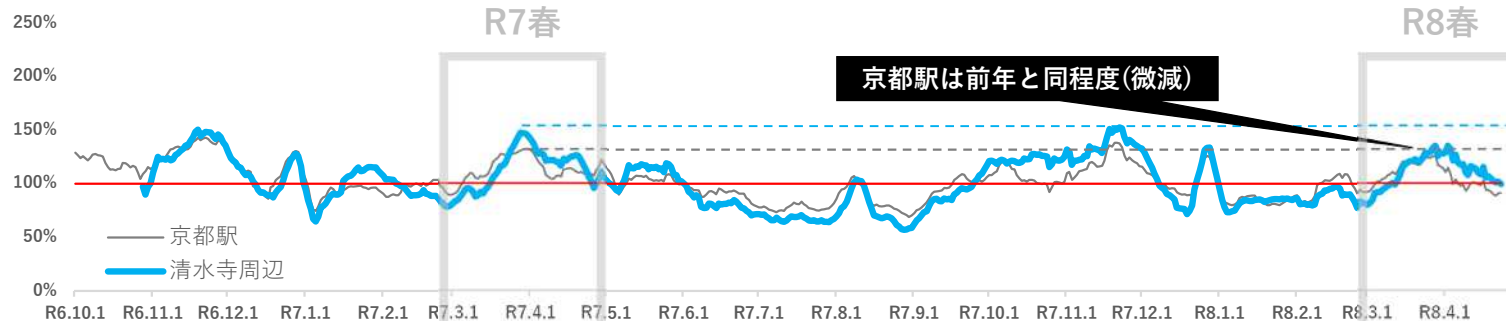
- ・ **清水坂観光駐車場の完全予約制**については、事前決済の導入や修学旅行バスの優先予約の導入により、**バスの無断キャンセル台数の減少、修学旅行バスの予約が取れないといった苦情がない**等、改善が図られた。
- ・ **観光特急バス**については、運行パターンの見直し及び経路変更等の取組により、**昨年実績と比較して利用者の利用促進**に繋げることができた。（春：3,525人/日（R7：3,269人/日）、GW期間：2,945人/日（R7：2,630人/日））
- ・ 手ぶら観光の推進として、多機能ロッカーの設置や、京都駅における臨時手荷物配送・預かり所を設置するなど、受入環境の整備に取り組み、**市バス車内への大型手荷物携行者数の割合は、春の観光シーズン期間中に京都駅前市バスのりば（D2）で平均4.0%**（R7と同水準）となった。
- ・ 地域と連携した観光マナー啓発・散乱ごみ対策を推進。昨年秋の観光シーズン同様に**ごみの散乱はほぼ見られなかった**。

【参考】主要観光地における観光客の増減傾向（ライブカメラ映像の解析結果）

2

【データの見方】 100% = 各地点におけるR7の平均値。同地点の時系列比較は可能だが、地点間の比較はできない。

清水寺周辺



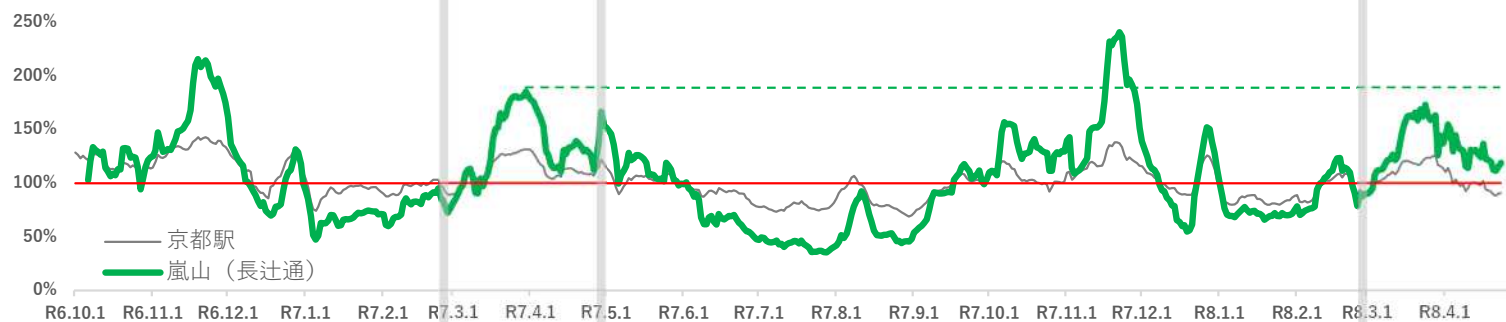
■データの傾向

- ・ R8春は前年と比べてやや減少
- ・ 年間を通じて増減幅が比較的小さい。

■地域・事業者の声

- ・ 中国人観光客は減っているが、欧米系が多い印象
- ・ 以前は日が沈んだら静かな町だったが、最近は夜間に歩く人も多い。

嵐山（長辻通）



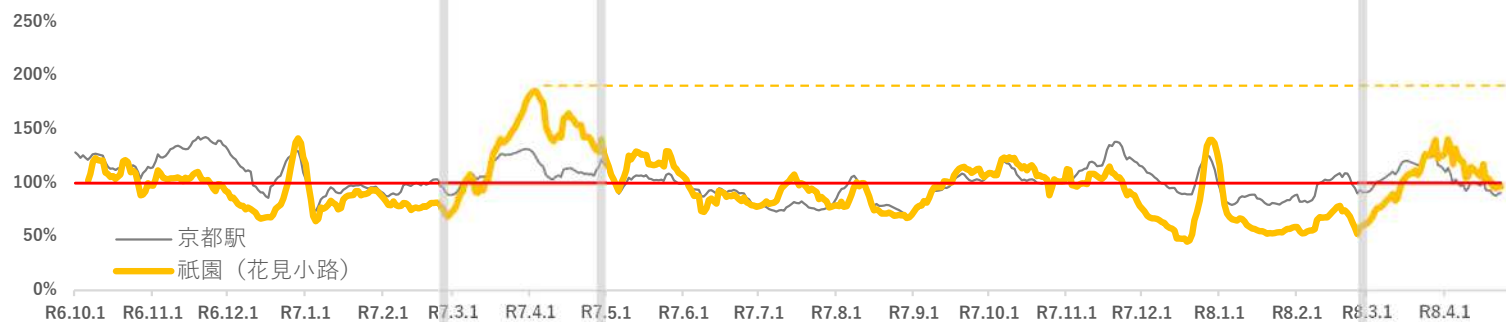
■データの傾向

- ・ R8春は前年と比べてやや減少
- ・ 年間を通じて増減幅が比較的大きい。

■地域・事業者の声

- ・ 中国人は減ったが、欧米人と日本人が多く来ている印象
- ・ 全体として観光客は増えているように感じる。

祇園（花見小路）



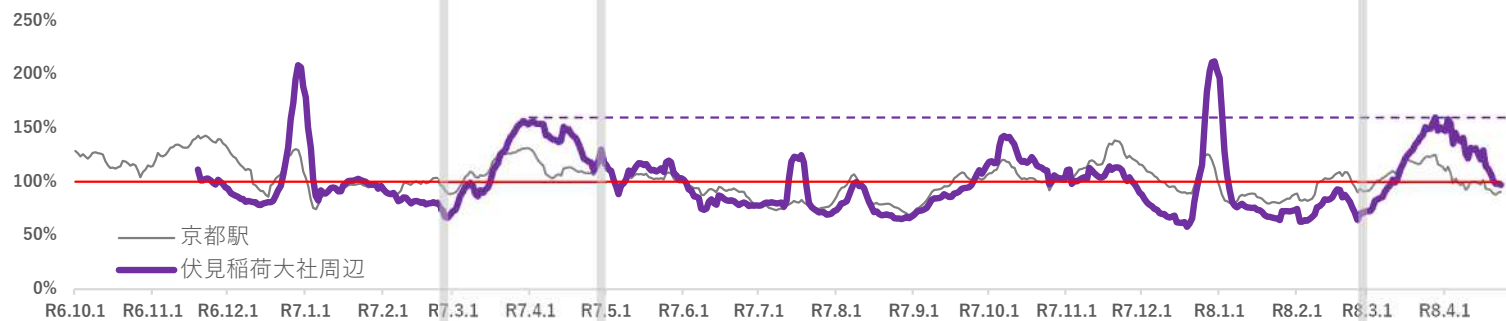
■データの傾向

- ・ R8春は前年と比べて大幅に減少
- ・ 期間中の最大ピークはR7春

■地域・事業者の声

- ・ 中国人観光客はほぼいなくなった。夕方から夜にかけてのナイトツアーが多く、マナー違反が目立つ。
- ・ 観光客全体の数は減ってきている。

伏見稲荷大社周辺



■データの傾向

- ・ R8春は前年と比べて同程度
- ・ 例年、年末年始に大きなピーク

■地域・事業者の声

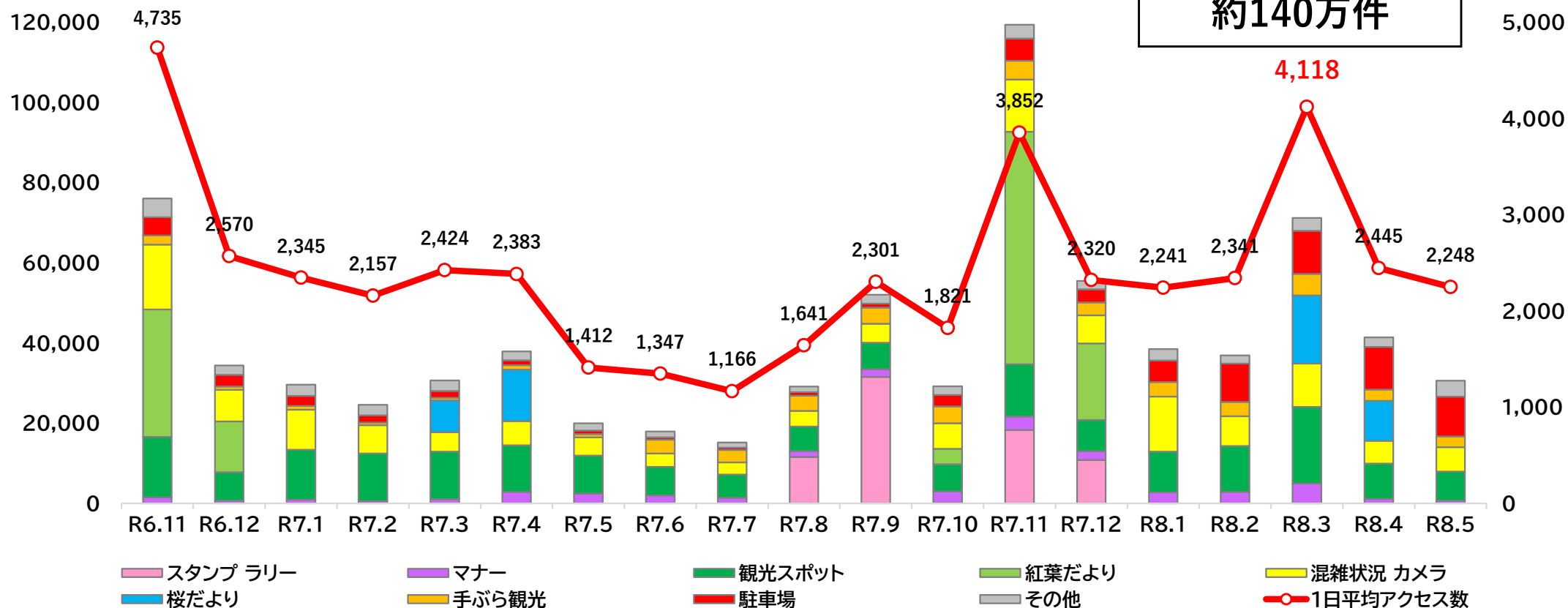
- ・ 春になって観光客が増えてきた印象
- ・ 中国人は減ったが、欧米人が増えており、全体としては観光客が減ったようには感じていない。

（注）基データは、京都観光デジタルマップ（京スマ）で配信しているライブカメラ（混雑状況カメラ）の映像を画像解析し、1分単位で人数情報を取得したもの。よって、各地点（エリア）の来訪者数そのものを測定した数値ではない。当該データの1日ごとの平均値をとり、R7年間平均値（100%）との比について、1週間の移動平均をグラフ化。

- 観光スポット情報（神社仏閣、桜だより・紅葉だより等）、混雑状況カメラ、観光バス駐車場の満車・空車情報及び事前予約・決済、手ぶら観光サービス窓口情報、観光マナー情報等を一元的に発信
- 1日平均アクセス件数は約2,500件で、今春の観光シーズンは桜の見頃情報の期間限定発信等を行い、約4,000件に達した。京都駅デジタルマップ（駅スマ）との連動や、観光バス駐車場の予約システムの導入により、認知度の定着が着実に進んでいる。
- 利用者の大半（約8割）は日本国内であるが、台湾、米国、香港、中国、韓国など、海外からの利用も拡大している。（サイト閲覧時の言語で判別）



< カテゴリ別スポット閲覧数（左軸）及び1日平均アクセス数推移（右軸） >



○宿泊税の使途について

京都市の宿泊税収入は、「国際文化観光都市としての魅力向上」と「観光の振興」に活用しており、本資料に掲載している各取組の財源にも充当。**宿泊税の使途について、市民の皆様、そして観光客（宿泊客）の皆様にも伝えるように、動画を作成して、配信中**



（動画二次元コード）



○宿泊税の見直しについて

「持続可能な観光」の実現に向けた取組の財源を確保するため、税率を負担能力に応じて一部引き上げる条例改正案が令和7年2月市会で可決。令和7年10月に総務大臣同意を得て、令和8年3月1日から税率改定

引上げによる税収を活用し、「多様で奥深い魅力を活かした「観光」の推進」及び「市民生活と観光の調和・両立の更なる推進」に係る施策・事業を推進する。

※ 令和7年度税収59億円（予算額）に対し、見直し後の令和8年度税収額は132億円を見込む。

宿泊料金 (1人1泊につき)	税率	
	令和8年2月まで	令和8年3月以降
6,000円未満	200円	200円
6,000円以上20,000円未満		400円
20,000円以上50,000円未満	500円	1,000円
50,000円以上100,000円未満	1,000円	4,000円
100,000円以上		10,000円

課題認識

- ・ 時期や時間の分散傾向が進んでいるものの、依然として主要な観光地に観光客が集中している状況

対策の方向性

- ・ 更なる観光地の分散化に資するよう府内全域での周遊観光の促進、市内の知る人ぞ知る隠れた名所の更なる魅力を発信
- ・ 継続した混雑情報の発信により、特定観光地への集中の緩和、観光地の分散を図る。

充実 周遊観光の推進

< 随心院・小野梅園から日本遺産・琵琶湖疏水（山科エリア）を目指して 山科ハイキング >

- ・ 「山科エリア」の市内中心部からの高いアクセス性と、身近に自然や歴史を感じられる地域特性を生かし、今まで知られていなかった山科の魅力を体験できるハイキングツアーを実施
- ・ 実施時期：3/14(土)
- ・ 行程：随心院⇒岩屋神社⇒笠原寺⇒旧東海道⇒井筒八ツ橋本舗追分⇒山科疏水公園（ゴール）⇒毘沙門堂（自由散策）
- ・ 参加者数：542名

< 「とっておきの京都」お花見特集記事の掲載 >

- ・ 「とっておきの京都」内の専用ページで、西京・山科・伏見の桜の隠れた名所や京北・高雄・大原編のピーク時期を避けて楽しめる桜のスポットを紹介
- ・ 実施時期：3/9(月)公開



< 府市の朝・夜観光ウェブページ公開 >

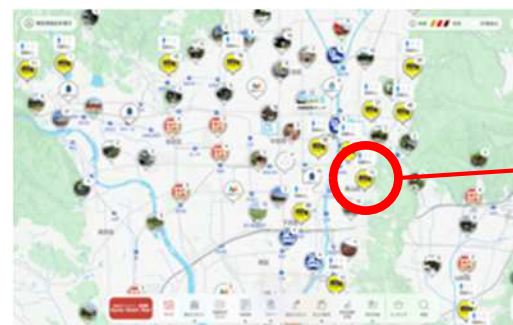
- ・ 観光Naviの朝・夜観光ページを、府市のイベント情報や観光スポットを一体的に発信する特設ページとして刷新（公開日：2/19(木)）
- ・ 大垣書店とコラボし、特集記事の掲載、「朝観光」「夜観光」冊子を発行した。（発行日：2/28(土)）



朝夜観光キービジュアル

京都観光デジタルマップ「京スマ」を活用した混雑情報の発信

- ・ A I 技術を活用した観光地の混雑状況の発信等、京都観光に便利な情報を一元的に発信
- ・ 観光地の桜の見頃情報も併せて発信



(混雑情報+魅力スポット情報)
観光地の混雑対策



【結果及び対策の評価等】

- 山科ハイキングについては、60代～70代の女性を中心としたお客様に、普段は通らないルートを歩きながら山科の魅力あるスポットを周遊していただけたことや、府市の朝・夜観光ウェブページのリニューアルを通じて新たな京都の魅力を感じてもらい、分散化に寄与しているとの認識
- また、京スマについても、春の観光シーズンに桜の見頃情報を発信した結果、アクセス件数が約4,000件／日を超えており、利用者からも御好評いただいているが、より多くの観光客等に御利用いただけるよう、引き続き情報発信を実施していく必要がある。

課題認識

- ・清水坂観光駐車場の完全予約制について、無断キャンセルや修学旅行関連の予約が取りにくいといった問題が生じている。
- ・これまでから、観光バス路上滞留啓発を実施している中、啓発をしてもなお、繰り返す悪質な事業者が一定数いる。

対策の方向性

- ・清水坂観光駐車場の更なる利便性の向上
- ・継続した観光バスの路上滞留解消に向けた現地啓発活動の実施、路上滞留を繰り返す悪質事業者に対する対応の強化

充実 清水坂観光駐車場の完全予約制の運用方法見直し

<見直し内容>

- ・事前決済の導入
駐車予約の際に、**事前決済（利用日の7日前に決済）ができる予約システムを構築**（【補足】参照）
（バスの無断キャンセル台数（1日平均）：R7春 30台→R8春 6台）
- ・乗客の乗降のためのバスの一時駐車料金の導入（1,500円／回）
来場の遅延等により予約枠の時間内だけでは乗車・降車ができない場合に使用できる一時駐車を規定
- ・修学旅行の優先予約の導入
修学旅行バスは一般予約より7日前からの予約が可能
（修学旅行バス台数：2,083台のうち優先予約1,537台（74%））
- ・予約枠数の拡大（2、3時間枠）
利用実態を踏まえ、これまでの4時間枠を2時間枠とし、枠数を増加

東山「観光・交通・環境」協力会議による取組

- 交通誘導員の配置
- ・実施時期：3/14(土)～4/5(日)
- ・配置場所：
（定点配置）東山五条、大谷祖廟入口
（巡回配置）東大路通東側（八坂神社～東山安井～高台寺）



<実施時期>

- ・予約開始：2/2(月)※修学旅行予約は1/26(月)
- ・実施期間：3/23(月)～6/26(金) ※4/29(水)～5/6(水)除く

<清水坂観光駐車場と東大路通間の所要時間>

- ・駐車場と東大路通間の約300mの平均所要時間
- ・「対策」は完全予約制を表し、（ ）内は対策前との比較

内容	東行（上り）	西行（下り）
R6秋（対策前）	6分56秒	19分33秒
R6秋（対策中）	3分03秒（△56%）	11分39秒（△40%）
R7春（対策中）	2分46秒（△60%）	8分09秒（△58%）
R7秋（対策中）	2分45秒（△60%）	5分52秒（△70%）
R8春（対策中）	1分47秒（△74%）	5分39秒（△71%）

【補足】観光バス駐車場予約サービス

（近畿地方整備局京都国道事務所と連携した取組）

清水坂観光駐車場、嵐山観光駐車場、銀閣寺観光駐車場において、**京都観光デジタルマップ「京スマ」**でR7秋から運用中の駐車場の空き状況の事前確認に加えて、事前予約・事前決済が可能となるシステムを導入

パークアンドライドの推進

観光バス路上滞留対策

＜現地啓発活動の実施＞

・啓発エリア：計14エリア（R7秋と同エリア） ・1日平均啓発件数：春 約91件（R7:約97件）、GW：約37件（R7:約54件）

○春の取組【3/20(金・祝)～4/5(日)の計7日間】

実施エリア	啓発件数／日	前年同期比(昨年同期件数)
① 御池通(堀川通～川端通)	18.6件／日	▲13.0%(21.4件／日)
② 五条通(川端通～東大路通)	8.6件／日	▲18.1%(10.5件／日)
③ 烏丸通(御池通～五条通)	21.4件／日	+34.6%(15.9件／日)
④ 知恩院周辺	11.6件／日	▲44.2%(22.4件／日)
⑤ 河原町通(八条通～九条通)・九条烏丸周辺	12.6件／日	+40.0%(9.0件／日)
⑥ 豊国神社周辺・京都市立芸術大学周辺	1.9件／日	▲68.3%(6.0件／日)
⑦ 東本願寺周辺	11.9件／日	+31.0%(11.6件／日)
⑧ 紫明通	0.7件／日	—
⑨ 堀川通(四条通～七条通)	3.3件／日	(※)
⑩ 丸太町通(東大路通～白川通)	7.7件／日	—
⑪ 仁王門神宮道周辺及び平安神宮	0.9件／日	(※)
⑫ 九条大宮周辺	3.4件／日	—
⑬ 千本丸太町周辺	10.9件／日	—
⑭ 伏見稲荷大社周辺	1.0件／日	—

注 ⑧～⑭のエリアについては、令和7年度から新たに実施

前年同期比（前年同期啓発件数／日）については、前年同期との共通エリアのみ算出

※ 令和8年度にエリアの見直しを行ったため、⑨は⑦に、⑪は④にそれぞれ含まれる。

○GWの取組【4/29(水・祝)、5/2(土)、5/5(火・祝)の計3日間】

実施エリア	啓発件数／日	前年同期比(昨年同期件数)
① 御池通(堀川通～川端通)	8.7件／日	▲23.0%(11.3件／日)
② 五条通(川端通～東大路通)	7.0件／日	▲39.1%(11.5件／日)
③ 烏丸通(御池通～五条通)	13.3件／日	+56.4%(8.5件／日)
④ 知恩院周辺	2.3件／日	—
⑤ 河原町通(八条通～九条通)・九条烏丸周辺	5.3件／日	+23.2%(4.3件／日)
⑥ 豊国神社周辺・京都市立芸術大学周辺	0.3件／日	—
⑦ 東本願寺周辺	5.7件／日	—
⑧ 紫明通	0.3件／日	—
⑨ 堀川通(四条通～七条通)	2.0件／日	—
⑩ 丸太町通(東大路通～白川通)	3.3件／日	—
⑪ 仁王門神宮道周辺及び平安神宮	0.7件／日	—
⑫ 九条大宮周辺	1.0件／日	—
⑬ 千本丸太町周辺	3.0件／日	—
⑭ 伏見稲荷大社周辺	6.0件／日	—

＜啓発看板の新設＞

観光バスの路上滞留が見られるエリアに、計13枚の啓発看板を新設（既設52枚）

＜悪質事業者に対する警告文等の発出＞

令和7年春・秋の観光シーズンの現地啓発活動において、路上滞留が複数回散見された観光バス事業者（82社）及び旅行事業者（9社）に対して、警告文書を発出

＜観光バスの路上滞留に係る市民からの情報提供＞

観光バスの路上滞留状況に係る実態把握のため、市民に情報提供依頼
提供件数：計127件（令和7年度） 参考：令和6年度は計298件

【結果及び対策の評価等】

- 清水坂観光駐車場については、事前決済の導入によりバスの無断キャンセル台数が減少（1日当たり平均30台(R7春)→6台(R8春))するとともに、修学旅行（修学旅行バス台数：2,083台のうち優先予約1,537台（74%））の優先予約の導入による予約が取れないといった問題の緩和に一定寄与したものと認識
- 観光バス路上滞留対策については、これまでの取組結果等を踏まえると、令和7年春との共通エリアでは、1日平均の啓発件数が前年同期比で減少しており、引き続き啓発活動の取組・分析を進めていく。
- また、外国人観光客の増加に伴い、年間を通じて観光バスが市内を走行しており、路上滞留の場所も刻々と変化する中、これまで観光シーズン等で実施してきた巡回調査に加え、通年で市内全域の実態を把握することが必要である。そこで、新たに京都市内を運行する一部の大型バスの運行データを基に、路上滞留状況や移動経路等の傾向を分析のうえ、より効果的な現地啓発活動の実施等につなげていく。

課題認識

- ・市民意見募集における「特に印象に残った観光課題」では、市バスの混雑が約4割を占めている状況
- ・観光特急バスは、一定数御利用いただいているものの、継続した利用促進の必要性に加えて、移動経路の分散化に資する取組や、お客様案内の充実、継続が必要と認識

対策の方向性

- ・「観光特急バス」の更なる利用促進
- ・地下鉄をはじめとした鉄道を活かした移動経路の分散
- ・市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実

「観光特急バス」の利用促進

充実 「観光特急バス」の利用促進

○ 観光特急バスの利用実績

- ・EX100号系統：36便／日、EX101号系統：8便／日を運行
- ・春の観光シーズン〔3/28(土)～4/5(日)の土休日、4日間〕
3,525人／日(R7：3,269人／日)、4/5(日)は過去最高の4,032人／日
- ・GW期間〔5/2(土)～5/6(水・休)、5日間〕
2,945人／日(R7：2,630人／日)

○ 「観光特急バス」の運行パターンの見直し【3/20(金・祝)～】

御利用の少ない時間帯（11時～12時台）のEX101号系統（8便）を、EX100号系統（4便）に振り替えることで、輸送力を効率的に配分し、利便性を高め、利用を促進

<取組結果>

11時～12時台の観光特急バスを利用された方は、昨年度実績と比較し、
春の観光シーズンでは69人／便から94人／便（+25人／便・+36%）、
GW期間では58人／便から82人／便（+24人／便・+41%）に増加

○ EX100号系統の始発停留所の見直し【3/20(金・祝)～】

午後の時間帯の清水道始発→京都駅前への8便を、祇園始発に変更し、京都駅に向かう方の乗車機会の拡充により利用を促進

<取組結果>

清水道始発を祇園始発に変更したことで、復路の利用者数は、昨年度実績と比較し、一日当たり、春の観光シーズンでは111人から240人（+129人・+116%）、
GW期間では188人から256人（+68人・+36%）に増加

充実 「観光特急バス／地下鉄・バス1日券」の利用促進に向けたPR

WEB記事掲載をはじめ、TikTokと連携したPR動画の配信（今春から新たに追加）、空港、宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを継続して実施

○ EX100号系統の経路変更【5/2(土)～5/6(水・休)】

観光特急バスの速達性と定時性確保に向けて、EX100号系統の京都駅～五条坂間について、左折に時間を要する五条坂交差点をスムーズに通過するため、EX101号系統と同経路（七条通→東山通経由）に変更

<取組結果>

GW期間は道路の混雑がそれ程なかったため、昨年実績と比較し、京都駅～五条坂間の平均所要時分の差は横ばいであった。

道路の混雑があった5/4(月・祝)は、所要時間が1分程度短縮した。

地下鉄とバスを組み合わせた移動への誘導

「地下鉄・バス1日券」の臨時販売

JR東海の御協力の下、新幹線京都駅構内に臨時販売所を設置。新幹線を降車されたお客様に対して「地下鉄・バス1日券」を販売し、地下鉄への利用誘導を図る。“おもてなしコンシェルジュ”がお客様の御案内を実施
・実施日：3/20(金・祝)、3/21(土)、3/28(土)、5/2(土)、5/3(日・祝) 8時～11時30分

<販売実績>

4,275枚、5日間平均 855枚／日(R7：2,215枚、4日間平均 553枚／日)

充実 「地下鉄・バス1日券／観光特急バス」の利用促進に向けたPR（再掲）

市バスから地下鉄への無料振替

- ・実施日：3/28(土)、3/29(日)、5/2(土)～5/5(火・祝)
- ・実施場所／時間帯
東山三条（地下鉄東山駅）／ 15時30分～18時50分
金閣寺道（→北大路駅ルート）／15時～17時30分 〔GW期間のみ実施〕

<利用実績>

春の観光シーズン：546人／日〔バス9台分〕(R7：450人／日〔バス8台分])
GW期間：895人／日〔バス15台分〕(R7：619人／日〔バス10台分])

市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実等

市バスの臨時増発

<運行実績>

臨時便	春の観光シーズン 期間中 3/20～4/5 土休日		GW期間中 4/26～5/6 土休日	
	回数	利用者数	回数	利用者数
京都駅～清水寺・祇園方面 106号系統	65	6,150	75	5,955
東山安井／馬町→京都駅 206号系統（区間運行便）	28	1,491	44	1,766
鉄道駅～金閣寺 25号・205号系統	28	2,519	36	2,191
北大路BT～金閣寺～嵐山 109号系統	—	—	72	6,803

地下鉄の臨時増発

烏丸線（国際会館～竹田間）で臨時増発（1日当たり12往復）を実施

- ・実施日
3/20(金・祝)～4/5(日)、
4/29(水・祝)～5/5(火・祝)の土休日

主要バス停留所及び主要地下鉄駅での案内活動

京都駅前ほか、観光地最寄りの停留所等において、バス待ち旅客の案内・誘導を実施し、停留所付近の環境改善や乗降時間の短縮によるスムーズな運行に取り組んだ。

- ・配置箇所：清水道・五条坂・祇園・東山三条・金閣寺道・平安神宮等
- ・実施日：3/20(金・祝)～4/5(日)、
4/25(土)～5/6(水・休)の土休日

新規 バス接近情報「ポケロケ plus+」の運用開始【3/20～】

スマートフォン等で市バスの接近情報を確認いただける「ポケロケ」の機能を拡充し、新たに「ポケロケ plus+」として、市バスの車内混雑度や走行位置等のリアルタイム運行情報を、交通局ホームページ上で発信

これにより、お客様に空いているバスや他のルートを選択いただくことで、御利用の分散化を図った。

<利用実績> **R8/3/20～5/6までのアクセス件数：約306,000件／日**
(参考) **R7年度旧ポケロケのアクセス件数：約122,000件／日**

新規 清水道（南行）停留所の運用見直し【3/20～通年化】

2か所ある清水道（南行）停留所を行先・方面別に運用を変更し、京都駅方面と東福寺・九条通方面に分け、利便性の向上と停留所付近の混雑緩和を図った。

充実 金閣寺道（北行）停留所の分設

金閣寺道（北行）の停留所について、観光シーズンの繁忙期に、行先・方面別に分設することで、停留所付近の混雑緩和を図った。

- ・実施日：3/20(金・祝)～4/5(日)
4/25(土)～5/6(水・休)

充実 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”の活動

京都駅前では、3月下旬から4月上旬にかけて平日も含めて配置
観光シーズンの繁忙期には、観光地最寄りの停留所（清水道・五条坂・**金閣寺道（今回から拡充）**・銀閣寺道・祇園）でも実施した。

- ・京都駅前：3/20(金・祝)～4/12(日)、その他は土休日(通年)
- ・観光地最寄りの停留所：3/20(金・祝)～4/5(日)の土休日、
4/24(金)～5/6(水・休)の土休日

【結果及び対策の評価等】

- 観光特急バスの利用促進や、“おもてなしコンシェルジュ”による御案内、市バスから地下鉄への無料振替、地下鉄とバスを組み合わせた移動への誘導等の対策を着実に実施することで、**市バスの混雑緩和に一定寄与**したものと認識
- 市バスの**一部の路線・時間帯においては、市民の皆様にスムーズに御利用いただけない事態が生じている状況**を踏まえ、引き続き、市バスの混雑対策を推進する必要がある。

課題
認識

- ・市民意見募集の結果等から、「市バス車内の混雑」を懸念する声が多い。
- ・大型手荷物の携行者数調査でも、京都駅前市バスのりば等において、市バス車内への持ち込みを一定数確認

対策の
方向性

- ・京都駅のコインロッカーの満空情報の発信や手ぶら観光サービス窓口への案内誘導の強化、窓口負担の軽減、利用者の利便性向上

京都駅デジタルマップ（駅スマ）の運用

京都駅構内のコインロッカーの位置や満空情報、手ぶら観光サービス窓口、市バス乗り場等の情報を一元的に発信するとともに、現在地から目的地までの徒歩経路検索も可能な「京都駅デジタルマップ（駅スマ）」を運用している。

アクセス件数は春の観光シーズンである令和8年3月に約3,200件／日を記録し、月ごとの変動があるものの、一定水準を維持しており、認知度の定着が着実に進んでいる。利用者の大半は日本国内であるが、海外からの利用も拡大している。



(駅スマ二次元コード)

京都駅周辺の窓口を対象とした事前予約システムの運用

京都駅周辺の手ぶら観光サービス窓口への利用促進はもとより、各窓口での混雑緩和を図るため、京スマ・駅スマ内で事前予約システムを運用している。（対象窓口：15窓口）

充実 近鉄京都駅へのスマートロッカーの新設

株式会社近鉄リテリング及び株式会社SPACERと連携し、手ぶら観光の推進に向けた取組の一環として、京都駅在来線中央口（烏丸口）に加え、近鉄京都駅に新たにスマートロッカー（pikuraku PORTER(ピクラク ポーター)）を設置

<サービス概要>

- ・開始日：5/22(金)
- ・サービス：宿泊施設への当日配送及び一時預かりサービス
※一時預かりサービスについては、事前予約可能
- ・設置台数：計17口（小扉6、中扉5、大扉6）

臨時手荷物配送・預かり所の開設

令和7年秋の観光シーズンに引き続き、春の観光シーズンにも、京都駅（京都駅ビル駅前広場）において臨時手荷物配送・預かり所を設置のうえ、手荷物の宿泊施設への当日配送及び一時預かりサービスを実施

<実施概要>

- ・実施時期：3/20(金・祝)～3/22(日)、3/27(金)～3/30(月)の7日間
- ・実施時間：9時～17時
- ・サービス：宿泊施設への当日配送サービス及び一時預かりサービス

サービス	令和8年春（7日間）	令和7年春（6日間）	令和7年比
当日配送	34件／日	26件／日	+31%
一時預かり	289件／日	114件／日	+154%

「HANDS FREE KYOTO」での情報発信

- ・掲載事業者数：163事業者（令和8年3月末）

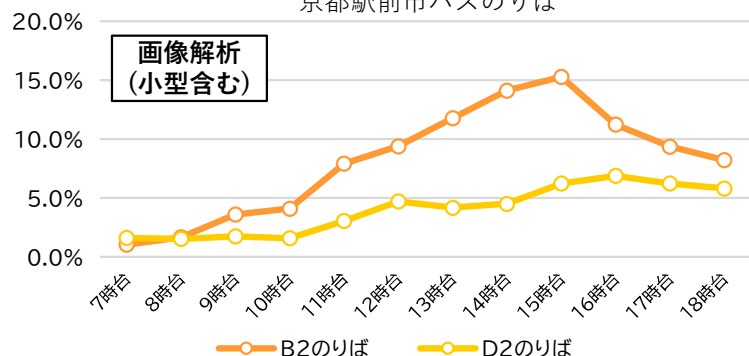
市バス車内への大型手荷物携行者数調査

京都駅B 2・D 2市バスのりばにカメラを設置及び市内の市バスのりばに調査員を配置のうえ、市バス車内に大型手荷物を携行する観光客数等を計測

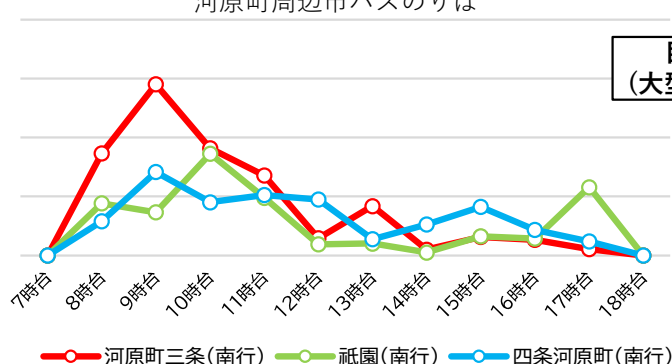
- ・京都駅前市バスのりば：D 2 及びB 2 の2 か所にカメラ設置。3/1(日)～5/12(火)のうち、D 2 は40日間、B 2 は34日間分のデータを分析
- ・市内の市バスのりば：6 か所で目視調査。5/1(金)、5/3(日・祝)、5/6(水・祝)の3日間。参考値としてタクシーのりば（2 か所）も調査。

<市バス車内への大型手荷物携行者数調査結果（乗車人数当たりの大型手荷物の割合）：時間帯別>

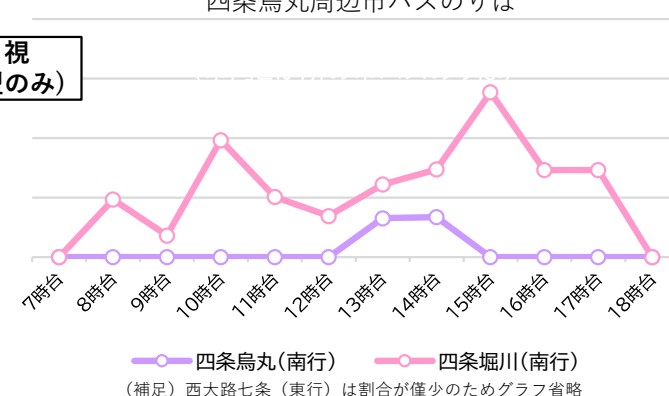
京都駅前市バスのりば



河原町周辺市バスのりば



四条烏丸周辺市バスのりば



<観光シーズン別の大型手荷物携行者数割合（調査期間中の平均値）>

調査場所	R6秋	R7春/GW	R7秋	R8春節	R8春/GW
① B 2 のりば（※）	-	-	7.0%	6.3%	8.1%
② D 2 のりば（※）	2.4%	4.0%	2.9%	3.6%	4.0%
③ 河原町三条（南行）	-	4.9%	-	-	3.9%
④ 祇園（南行）	-	2.0%	-	-	2.6%
⑤ 四条河原町（南行）	-	2.8%	-	-	3.1%
⑥ 四条烏丸（南行）	-	2.9%	-	-	1.5%
⑦ 四条堀川（南行）	-	7.3%	-	-	6.4%
⑧ 西大路七条（東行）	-	-	-	-	0.8%
⑨ 烏丸口タクシーのりば	-	7.5%	-	-	9.9%
⑩ 八条口タクシーのりば	-	28.5%	-	-	15.8%

※小型を含む。

■令和8年春・GWの傾向

- ・京都駅ではチェックイン時間前後（14時～17時）に携行者が多くみられた。
- ・市内中心部（河原町三条、祇園、四条河原町、四条堀川）から京都駅方面では、チェックアウト時間前後（8時～正午）に携行者が多くみられ、午前中に大型手荷物を携行したまま市バスに乗り、次の目的地や京都駅へ移動しているものと推察される。
- ・一方、市内中心部でも、四条通（四条烏丸、四条堀川）から京都駅方面では、チェックイン時間前後（14時～17時）にも携行者のピークがみられる結果となった。
- ・昨年同様、京都駅タクシーのりばにおける携行者数割合は高水準であった。

【結果及び対策の評価等】

- 駅スマについては、アクセス状況等を踏まえると、一定の認知度を確保できている。今後、利用者の声等を踏まえ、発信内容の充実を図るとともに、更なる利用拡大を目指す。
- 臨時手荷物配送・預かり所の利用は前年比増だったものの、京都駅前市バスのりば（D 2）における大型手荷物携行者数割合は、前年同期比で同水準。今後、各市バスのりばにおける調査結果の傾向等を踏まえ、効果的な情報発信を検討・実施する。

課題認識

- ・「観光客が京都駅に一極集中する」こと、さらに「京都駅を発着する一部のバス路線に観光客が過度に集中する」ことが、公共交通における観光課題の一つと認識

対策の方向性

- ・サブゲート（周辺駅）への分散化等を促すため、観光客の「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」という3つの段階に応じた情報発信等

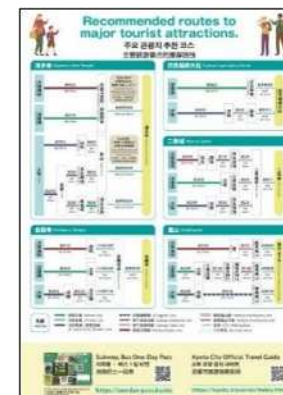
デジタル広告による情報発信の強化

- ・配信媒体：Facebook、Instagram、Weibo
- ・配信先：日、米、英、豪、中、台湾、香港
- ・配信期間：2/16(月)～3/31(火)
- ・配信内容：サブゲート利用を促す情報発信（以下参照）



関西圏における京都駅を経由しない入洛ルート等の情報発信の強化

- ① 関西の鉄道事業者と連携した情報発信
 - ・実施時期：2月下旬～
 - ・連携鉄道事業者数：11社局
- ② 関西国際空港、難波観光案内所及び観光交流プロモーション拠点「Pivot BASE」における情報発信（3/1(日)～3/31(火)）
- ③ 大阪府内宿泊施設における情報発信
 - ・宿泊者へのチラシ配布（3/1(日)～3/31(火)）
 - ・大阪観光コンシェルジュへの記事掲載（約600施設）



臨時交通案内所を核とした案内・誘導

- ・地下鉄をはじめとする鉄道・観光特急バス等、大量輸送可能な公共交通機関に案内・誘導（多言語対応）
- ・実施時期：3/20(金・祝)～3/22(日)、3/27(金)～3/30(月)
- ・案内件数：7日間合計8,035人（1日最大1,316人）



鉄道事業者と連携した情報発信

京都駅タクシーのりばにおける利用者の滞留対策

- ・京都駅タクシーのりばに誘導員を配置して滞留対策を実施

【結果及び対策の評価等】

- **最も混雑する市バスD2のりば（清水寺・祇園方面）の待ち時間は最大でも15分程度**であり、列がほとんど発生していない時間帯もあった。また、タクシーのりばについては、烏丸口と八条口とも概ね10～15分程度の待ち時間が生じたが、誘導員の配置による滞留対策の取組により、大きな混乱はみられなかった。
- 床面案内表示や京都駅一極集中の緩和に向けた情報発信、観光特急バスの運行等の相乗効果等により、**京都駅において目立った混雑の発生はなかった。**

課題認識

- ・京都観光に関する市民意識調査等の結果において、「観光客のマナー問題」を懸念する声が依然として多い。
- ・散乱ごみ対策は、この間成果を挙げている多様な取組を継続するとともに、地域・事業者の主体性を高める必要がある。

対策の方向性

- ・マナー啓発・散乱ごみ対策ともに、地域、事業者、行政の3者で連携した持続可能な取組を実施

旅マエから旅ナカまでのマナー啓発

<旅マエ>

- ・日本政府観光局（J N T O）、ツアーオペレーター事業者等を通じた観光マナー啓発の情報発信

<旅ナカ>

- ・SNS 広告や京都市広報板等でのマナー啓発ポスターの掲示など

- ・観光客に対する「京都観光行動基準」（京都観光モラル）の普及啓発や観光マナーの啓発では、**「ツーリストシップ」という分かりやすい言葉を**
用いた周知啓発



充実 祇園町南側地区におけるマナー啓発員による啓発結果

- ・3/18(水)～5/8(金)は啓発員を4人から8人に増員して配置
- ・全体として啓発件数は減少傾向
- ・「芸妓・舞妓への無許可の写真撮影」は、1件～2件/人日程度
- ・「禁じられた場所の写真撮影」は、啓発件数が増加傾向

【主な結果（啓発員1人日当たりの啓発件数）】

内容	R6春・GW	R6秋	R7春・GW	R7秋	R8春・GW
芸妓・舞妓への無許可の写真撮影	2.4	1.2	1.1	0.9	1.4
禁じられた場所の写真撮影	8.6	7.6	5.5	6.0	7.5
道路（主に車道）をふさぐ行為	11.6	11.5	10.3	4.3	5.2
食べ歩き	12.0	5.5	7.4	4.3	3.6
団体・集団への移動願い	5.1	4.1	5.2	3.7	3.2
その他（無断立入・覗き込み）	14.1	6.1	7.4	4.6	4.4

散乱ごみ対策

- ・観光地や繁華街等、ごみのポイ捨てが生じやすい地域を中心に、啓発看板の設置や、本市職員による清掃・パトロール等を実施
- ・特にごみ量が多い街頭ごみ容器について、収集回数を追加
- ・その他、商店街と連携した清掃活動等を含む、地域・事業者と連携した多様な対策により、主要な観光地等において、著しいごみの散乱は見られなかった。



充実 地域と連携した取組（「地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度」の活用）

< 桝屋町親交会（東山） >

- ・ 維新の道と二年坂の交差点にマナー啓発員を配置
- ・ 実施時期：11/1(土)～継続配置
- ・ 配置人数：1人



< 古都に燃える会（東山） >

- ・ 観光マナー啓発ポスターの作成
- ・ 実施時期：3/1(日)以降、配布・掲出



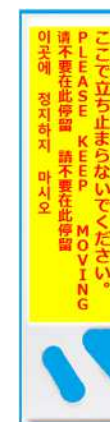
< 祇園町南側地区協議会 >

- ・ 大学と連携し、地域住民による観光マナー啓発活動
- ・ 実施時期：2/27(金)、3/23(月)



< 淀観光協会 >

- ・ 河津桜周辺の観光マナー啓発用の手持ち啓発POPの作成
- ・ 実施時期：3/7(土)～3/22(日)



< 嵐山保勝会 >

- ・ 広域観光案内・嵐山地域ごみ箱マップのリニューアル
- ・ 配布時期：3/9(月)～3/19(木)



< 伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会 >

- ・ 観光マナー啓発を兼ねた清掃活動（通年実施中。各月週3回）



【結果及び対策の評価等】

- 観光マナー啓発については、これまでから粘り強く情報発信を継続しており、マナー啓発員の配置については、一定の啓発効果を確認できているものの、**観光マナーの情報発信については、どの程度の観光客に情報が届いたのか、また、啓発効果（行動変容）が発揮できているのかといった、定量的な効果測定に至っていない。**
- 行政のみならず、各地域・事業者と連携した持続可能な取組として、地域の抱える課題に即した対策を講じることにより、交通事故や混雑、観光マナー違反や散乱ごみの未然防止に寄与しているものと認識。特に、**散乱ごみ対策に関しては、地域と一体となった多様な取組を進めた結果、観光地周辺において、特段のごみの散乱は見られなかった。**

課題認識

- ・「持続可能な観光」の基盤として、観光関連事業者・従事者等、観光客、市民の三者が、お互いに尊重しあい、京都の魅力を大切にしたい気持ちを共に育んでいく関係づくりを促進する必要がある。
- ・多くの市民が観光の重要性を認識している一方、観光がもたらす具体的な効果が市民に十分に伝わっていない。

対策の方向性

- ・観光関連事業者・従事者等による「京都観光モラル」に沿った取組の積極的な推進を促す。
- ・観光の意義や効果に関して、市民向けに分かりやすい情報発信を継続して実施。宿泊税についても、宿泊税の見直しを踏まえ、引き続き対象に応じた情報発信を実施

観光効果の見える化・観光への市民共感の輪の促進

市民向けサイト「LINK!LINK!LINK!」において、引き続き観光関連事業者が提供する割引等の市民限定サービスや、観光が京都にもたらす意義・効果、課題とその対策等を発信

<サイトアクセス数>

令和7年度：152,837回



市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けたインバウンドへの情報発信

海外に設置している情報発信・収集拠点（ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北、上海）や海外有力メディア・海外インフルエンサーの発信力を活用した京都観光モラルやマナー等に関する情報発信<具体事例>

アメリカ経済情報WEB「Bloomberg」（京都観光モラル、とっておきのエリア等を掲載）、台湾ビジネス誌「商業周刊」（分散化、混雑回避、京都観光モラル等の特集掲載）

観光事業者による「京都観光モラル」普及促進事業及び優良事業者表彰

<令和7年度実績>

宣言事業者数：66事業者（累計485事業者）

優良事業者数：16事業者

宿泊税の使途の見える化等に向けた広報の推進

- ・使途に関する紹介動画をSNSや京都市情報館で継続して発信
- ・京都総合観光案内所や公共交通機関等でのポスター掲示やチラシ配布、デジタルサイネージ掲出
- ・税額及び使途に関するチラシ等を宿泊施設に配布
- ・税関係の本市封筒に動画へのQRコードを掲載
- ・各局の宿泊税活用事業における使途の広報

<実績>

令和7年度の動画再生回数：約340万回

【結果及び対策の評価等】

- 観光効果の見える化・観光に対する市民共感の輪の促進について、**市民向けサイト「LINK!LINK!LINK!」を多くの方に活用いただいていると受け止めている**が、観光に対する市民の理解・共感の拡大に向けては更なる周知に努める必要があると認識している。
- 市民生活と調和・両立した持続可能な観光促進に向けたインバウンドへの情報発信について、海外拠点を通じて、観光課題対策や京都観光モラル等の報道等につながるための働きかけを行い、**海外有力メディア（WEBサイトやビジネス誌）等の発信力の強い媒体を通して、情報発信することができた**。今後も、引き続き海外向けプロモーションの強化に取り組んでいく。